

# トップメッセージ



取締役社長

大場康弘



## あなたが健康だと、だれかがうれしい。

平素より、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険をお引き立て賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、SOMPOホールディングスグループの生命保険事業を担う生命保険会社として、グループ経営理念に基づき、「お客さまの視点ですべての価値判断を行い、保険を基盤としてさらに幅広い事業活動を通じ、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献」することを掲げています。

中期経営計画(2016年度～2020年度)では、今までにない新たな価値を提供することにより、国民が健康になることを応援する「健康応援企業」になることを目指しています。具体的には、お客さまの健康を応援するため、保険本来の機能(Insurance)に、健康を応援する機能(Healthcare)を組み合わせ、従来にない新たな価値「保険+健康(Insurhealth®:インシュアヘルス)」を提供しています。

中期経営計画の3年目である2018年度は、Insurhealth®としてお客さまの健康を応援する新商品を投入し、多くのお客さまにご好評いただきました。2018年4月に発売した収入保障保険「リンククロス じぶんと家族のお守り」は、万が一の際の保障に加え、お客さまが健康になると保険料が安くなる、健康を応援する機能(「健康☆チャレンジ!」制度)を組み込んだ業界初の商品です。

また、2018年10月には、業界初となる「MCI(軽度認知障害)」に対する保障を組み込んだ「リンククロス 笑顔をももる認知症保険」を発売し、介護事業を有するSOMPOホールディングスグループが一体となり提供するサービス「SOMPO笑顔倶楽部」を展開しています。多くのお客さまに選ばれた結果、2018年度末には保有契約件数414万件、総資産3兆円を突破いたしました。

当社は、2018年10月に新しい企業スローガン「あなたが健康だと、だれかがうれしい。」を策定しました。これは「大切なだれかのために、日々健康でいようと心がける」人々を応援する力になりたいという当社の想いを込めています。さらに2019年10月1日から社名を「SOMPOひまわり生命保険株式会社」に変更いたします。新たな社名、企業スローガンのもと、今まで以上のお客さま視点での商品・サービスの提供により、社会に貢献してまいります。

今後も「お客さま本位の業務運営方針」に基づいた業務を運営し、Insurhealth®を成長の軸として、ご契約後もお客さまに寄り添うことでお客さまに選ばれる保険会社を目指してまいります。

皆さまには、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

2019年7月

# 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命の沿革

1980	損保ジャパンひまわり生命	日本興亜生命
<p>1981年(昭和56年)7月 「アイ・エヌ・エイ生命」 設立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1981年(昭和56年)7月 Life Insurance Company of North Americaの100%出資で「アイ・エヌ・エイ生命保険株式会社」設立</li> <li>● 1982年(昭和57年)4月 営業開始</li> <li>● 1983年(昭和58年)4月 安田火災海上保険株式会社と業務提携</li> </ul>	
<p>1990</p> <p>1997年(平成9年)1月 「アイ・エヌ・エイひまわり生命」 に改称</p> <p>2001年(平成13年)1月 「安田火災ひまわり生命」 に改称</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1996年(平成8年)10月 安田火災への業務の代理・事務の代行委託開始</li> <li>● 1997年(平成9年)1月 社名を「アイ・エヌ・エイひまわり生命保険株式会社」に変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1996年(平成8年)8月 日本火災海上保険株式会社の100%出資で「日本火災パートナー生命保険株式会社」設立</li> <li>● 1996年(平成8年)10月 興亜火災海上保険株式会社の100%出資で「興亜火災まごころ生命保険株式会社」設立</li> <li>● 1996年(平成8年)10月 営業開始</li> </ul>
<p>2000</p> <p>2002年(平成14年)7月 「損保ジャパンひまわり生命」 に改称</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2001年(平成13年)1月 安田火災が株式を過半数取得社名を「安田火災ひまわり生命保険株式会社」に変更</li> <li>● 2001年(平成13年)12月 安田火災が株式を100%取得</li> <li>● 2002年(平成14年)7月 株式会社損害保険ジャパンの発足に伴い社名を「損保ジャパンひまわり生命保険株式会社」に変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2001年(平成13年)4月 日本火災と興亜火災の合併に伴い、日本火災パートナー生命と興亜火災まごころ生命も同時に合併し、「日本興亜生命保険株式会社」が誕生</li> </ul>
<p>2010</p> <p>2011年(平成23年)10月 合併 「NKSJひまわり生命」誕生</p> <p>2014年(平成26年)9月 「損保ジャパン日本興亜ひまわり生命」 に改称</p> <p>2019年(令和元年)10月 「SOMPOひまわり生命」 に改称(予定)</p>	<p style="text-align: center;"><b>損保ジャパン日本興亜ひまわり生命</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2010年(平成22年)4月 株式会社損害保険ジャパンと日本興亜損害保険株式会社の経営統合によるNKSJホールディングス株式会社の設立とともに、NKSJグループの傘下に入る</li> <li>● 2011年(平成23年)10月 損保ジャパンひまわり生命と日本興亜生命が合併し、「NKSJひまわり生命保険株式会社」が誕生</li> <li>● 2014年(平成26年)9月 NKSJグループが、グループ名を「損保ジャパン日本興亜グループ」に変更することに伴い、社名を「損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社」に変更</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>SOMPOひまわり生命</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2019年(令和元年)10月 「お客さま本位の業務運営方針」に基づき社名を「SOMPOひまわり生命保険株式会社」に変更(予定)</li> </ul>	



# トピックス

## 2019年10月1日より 「SOMPOひまわり生命」へ社名変更

当社は、お客さまの視点ですべての価値判断を行うことを経営理念に掲げており、お客さまへの分かりやすさを第一に考え、お客さまに選ばれ続ける保険会社を目指しています。

新社名は、2019年10月1日より「SOMPOひまわり生命保険株式会社」に変更することとなりました。

また、2018年10月には「あなたが健康だと、だれかがうれしい。」という企業スローガンを策定しました。このスローガンは、「大切なだれかのために、日々健康でいようと心がける」人々を応援する力になりたいという当社の想いを込めています。

## 「Insurhealth®:インシュアヘルス」について

当社は、保険本来の機能(Insurance)に、健康を応援する機能(Healthcare)を組み合わせ、お客さまが健康になることを応援する健康応援企業として、従来にない新たな価値「保険+健康(Insurhealth®)」を提供してまいります。

具体的なInsurhealth®商品として2018年度は4つの商品を発売しました。

また、デジタル技術の活用として2019年1月にイスラエルのスタートアップ企業であるビナー社と協業を開始し、健康サービス開発に向けた実証実験を開始しました。

さらに2019年2月には、当社、SOMPOホールディングス株式会社およびSOMPOヘルスサポート株式会社の3社合同で米国シリコンバレーのデジタルヘルスケア分野のスタートアップ企業であるニューロトラック社との業務提携を行い、認知機能低下を予防するデジタルコーチングサービス「日本版メモリーヘルスプログラム(MHP)」の共同開発に向けた実証実験などを開始しています。

このように最先端のデジタル技術を積極的に活用することで従来にない新たな価値「保険+健康(Insurhealth®)」を提供してまいります。

<Insurhealth®商品>

◆2018年4月『リンククロス じぶんと家族のお守り』販売開始  
発売から1年で、契約件数11万件を突破し、お客さまから大変ご好評いただいております。

本商品の特徴として、「健康☆チャレンジ!」制度により、加入時から一定期間内に喫煙状態または健康状態(BMI、血圧)が改善されると、以降の保険料が安くなるとともに、加入時からの保険料差額相当額を健康チャレンジ祝金としてお受け取りいただくことができます。



◆2018年8月『リンククロス ピンク』販売開始

日本人女性の約11人に1人\*が罹患すると言われている乳がんをはじめとする女性特定がんを重点保障する商品です。2年に1度のがん無事故給付金を活用した乳がん検診の促進や、万が一がんに罹患した際の経済的負担をサポートします。さらに、女性の不安軽減や社会問題の解決に対する想いを共有する複数の企業とパートナーシップ契約を締結し、罹患時や罹患後も自分らしい生活を続けていくための各種サービスをシームレスに提供しています。

※出典:国立がん研究センター がん情報サービス「がん登録・統計」

**Linkx pink**  
リンククロス

◆2018年10月『リンククロス 笑顔をまもる認知症保険』販売開始  
 業界初<sup>※</sup>となるMCI(軽度認知障害)を保障し、認知症になった場合に一時金をお支払いします。また、要介護1から一時金をお支払いするオプションをご用意しています。さらに、MCIや認知症の早期発見や認知機能低下を予防するための情報提供・サービス紹介等を行う認知症サポート「SOMPO笑顔倶楽部」をご利用いただけるほか、万が一介護が必要となった場合でもお客さまを支援するSOMPOホールディングスグループの介護サービス等を提供することにより、認知症の発症および進行を遅らせるとともに、介護までを一貫してサポートします。

※ 2018年10月発売時点



◆2019年3月『リンククロス ナインガード』販売開始  
 経営者の七大疾病・就労不能・要介護・高度障害による長期不在のリスクに備えることができる保険です。

また、商品サービスの一例として、忙しくて健康診断に行く時間がない方や、より短いサイクルで健康状態を把握したい方のために、自宅で居ながらにして健康チェックができる、「郵送血液検査サービス」なども用意しています。



## 「健康経営銘柄2019」に初選定、 「健康経営優良法人2019年大規模法人部門 (ホワイト500)」に3年連続認定

当社では「健康応援企業」への変革を実現するために、社員とその家族の自発的な健康維持、増進が不可欠と考えています。この考えに基づき、「健康経営」「働き方改革」への取組みを進めています。

### <取組みの例>

ウェアラブル端末の活用	心拍数の計測が可能なFitbit社製ウェアラブル端末を全社員に貸与し、社員の健康増進を後押ししています。
全社員、 就業時間内禁煙開始	2019年4月より全社員を対象に就業時間内禁煙を開始しました。医療機関に通院し、禁煙治療を行った社員を対象に、健康保険組合から補助金を支給します。
プレミアムフライデーの活用	社員は自身や業務の都合に合わせて、月に1度、交代で金曜日を15時退社とします。
労働時間削減	19時以降の在社を原則禁止します。
クアオルト <sup>※</sup> プログラムへの参加 <sup>※</sup> ドイツ語で療養地の意味	全国の日本クアオルト協議会加盟自治体と連携し、クアオルトプログラム(健康増進に向けたウォーキングの実施や地場産食材を使った栄養バランスの優れた料理の提供、温泉施設との連携を利用した健康増進プログラム)に全社員が参加します。

これらを含めたグループ全体の取組みが評価され、経済産業省および東京証券取引所が共同で選定を行う「健康経営銘柄2019」にSOMPOホールディングス株式会社が初選定されました。また、当社は、「健康経営優良法人2019大規模法人部門(ホワイト500)」に3年連続で認定されました。





## セレント社 Model Insurer Awards 2019 - Legacy and Ecosystem Transformation 部門 - を受賞

米国のリサーチ & アドバイザリー会社であるCelent (CEO: Jamie Macgregor) が主催する2019年Model Insurer Awards 2019の Legacy and Ecosystem Transformation部門を、当社は日本の生命保険会社として初めて受賞しました。

既存の生命保険のビジネスモデルからの脱却を目指した「三位一体のビジネスモデル」という取組みが、評価されました。当社は、2016年度から2020年度までの中期経営計画において、「商品」「チャネル」「サービス」が相互に結びつき、お客さまに新たな価値を提供し、お客さま一人ひとりとより強くつながることを目指しています。

項目	具体的な内容
商品	お客さまの健康を応援する健康増進型商品を開発・提供しています。
チャネル	募集人の教育を徹底し、HLアドバイザーという、保険コンサル販売だけでなく、健康に関するアドバイスもできる高品質の募集人を増やしていきます。
サービス	リンククロスという健康サービスプラットフォームをつくり、「健康」を軸とした新たなサービスを開発・運営しています。



## 障がい者カヌー・パラサイクリングへの スポーツ応援を開始

当社はダイバーシティの推進に取り組み、多様な人財が強みを発揮し活躍できる社会を目指しています。2018年度新たに、一般社団法人日本障害者カヌー協会と一般社団法人日本パラサイクリング連盟へ協賛し、障がい者スポーツの普及・発展に向けた活動を開始しました。当社の社員が障がい者スポーツへの参加、応援する機会を創出し、「健康応援企業」としての取組みを進めてまいります。今回の取組みは「誰一人取り残さない-No one will be left behind」を理念としたSDGsの取組みの一環でもあり、当社は健康を通じた持続可能な社会の実現を目指します。

